

## エコプロ2017 出展報告

ECU 理事・東京城北 ECA 理事長

古里 明瑠

ECU自主事業として実施しました、本年度のエコプロ2017出展につき報告します。

エコプロ2017(本年から展示会名称の副題が「環境とエネルギーの未来展」となりました。)は、東京ビッグサイトで平成29年12月7日(木)～9日(土)の3日間開催され、盛会裡に終了しました。

ECUでは東館3ホールNPO/NGOコーナーのN-10に、例年同様1小間の出展をしました。また、小間番は、例年通り、東京城北環境カウンセラー協議会で担当させて頂きました。

### 1. 入場者数

事務局からの速報によりますと、連日の入場者数は、次の通りでした。

- ・12月7日(木) 天気：晴れ  
来場者数：53,034人(昨年1日日来場者数 57,034人)
- ・12月8日(金) 天気：曇り、雨  
来場者数：60,949人(昨年2日日来場者数 63,390人)
- ・12月9日(土) 天気：晴れ  
来場者数：46,108人(昨年3日日来場者数 46,419人)
- ・総来場者数 160,091人(昨年総来場者数 167,093人)

入場者数は、例年と、ほぼ、同様の傾向です。7日、8日は、ウィークディで学童、生徒の動員があつて、賑わっていましたが、10日は社会人だけの感じで、丁度良い混雑具合でした。

### 2. 展示物

例年同様の3種類のパネル(①ECUの紹介と環境カウンセラーの説明パネル;②環境教育活動と環境教育インストラクターの説明パネル;③エコアクション21の説明パネル)に加え、今年度発足予定のESD学会紹介ポスターを藤本副理事長からご送付頂き掲示しました。更に東日本大震災の復興の歩みをまとめた福島ECA長澤氏と千葉ECA倉田氏の写真とレポートも掲示しました。机上の配布資料としては、ECUの紹介パンフレット(コピー作成分)、エコアクション21の各種資料、環境教育インストラクター養成セミナーの過年度テキスト等を置き、来場者に自由に持って行って頂きました。

今年は、NPO/NGOコーナーの端の位置だった関係で、通路通路側の壁面が利用でき、東日本大震災の「忘れないで福島」の展示をして、見やすいため関心を引いたように思います。

### 3. 立ち寄り者

これまでも、E C Uの小間に意識して立ち寄る方は、現に環境カウンセラーである人、各E C A団体に所属の会員、環境カウンセラーを受験しようとしている方、就職等に有利になることを意識して受験を値踏みしている学生、定年後の方でE A 2 1の審査員等を目指そうとしている方、環境のボランティア活動をするきっかけにしたい方、記事にならないかサーチしているマスコミ関係者、または、広告会社や展示工事業者で顧客として捉える方など雑多です。

関連のある日本環境協会からは、柏木専務理事にも来場いただきました。

E C U会員も関東近県の方が多いのですが、遠方の方も立ち寄り頂きましたので、交流の場としては、一応の成果があったものと思います。

頂いた名刺や、小間番担当者が声をお掛けして話した方のメモを見ると各日50名程度ですが、パンフレットの減少部数を見ると3日間で300名程度が来場されたものと思われます。

#### 4. 出展者の傾向、目立った展示物等

C O P 2 1パリ協定が発効したところに、米国トランプ大統領の脱退騒ぎもあって、地球温暖化防止に関心が戻ってきているように感じました。

環境省も大きな小間を取って展示していて、大分力を入れていました。但し環境カウンセラーに関する展示は、パンフレットひとつなく皆無でした。

日本環境協会は、エコマーク事務局としての展示が主体で大きな展示小間でしたが、環境カウンセラーの展示はありませんでした。

I P S U S (E A 2 1中央事務局)は、今年もそれなりの小間どりで、東京近郊の地域事務局から募集した説明員(E A 2 1審査人)を配置していて、派手さはありませんが、評価したいと思います。

東京商工会議所は、今年は出展を取りやめたようです。例年、傘下の企業で20社程度まとまったグループ展示をしていたのですが、本部も出展していませんでした。したがって、例年エコ検定(エコピープル)のパンフレットを、当方の小間にも貰ってきて置いていたのですが、今年は、協力展示ができませんでした。

特設展としては、SDG s、ナノセルロース、水素社会、生物多様性、環境モデル都市、森林、棚田などがありました。

日本建設業協会、塗装工業会、交通モビリティ財団、鉄道運輸協議会、電気保安協会、高速道路協会、空港協会などの業界団体は、夫々地道な取り組みを展開していることが伺え、また、配布資料にも貴重なデータがあって参考になりました。

大学、教育機関のコーナーは、年々参加校が増えてきている感じで、若い人たちが懸命に取り組んでいる様子が見られて好感を持ちました。環境教育イニシアチブの展開にプラスになるように感じました。

また、地方自治体の展示が増えたのも目立ちました。各自治体傘下の企業P Rを兼ねて大きなスペースを取っていました。特に東京都は23区と都下の市町村62自治体が、纏まって出展しており、活気が感じられました。各小間には自治体の環境課員が配置されており、E A 2 1の展開等に良い傾向が出てくればと期待したいものです。

産廃処理、リサイクル業界は、ひとりの活気は感じられませんが、地に足がついてきて、企業として地道な経営がなされるようになってきているようです。

大手企業は、自動車メーカー、スーパーなど入場者を消費者として捉えて、環境配慮製品、商品をP Rするのが主力になっている感じがしました。

場内で、来年度の展示会の説明会があり、出席してきました。来年も名称は**エコプロ2018**です。場所は同じ東京ビッグサイト、期間も12月第2週の12/6（木）～12/8（土）の予定とのことです。再来年は東京オリンピックの準備のため、東京ビッグサイトは使えなくなるとのことで、検討中とのことでした（主催事務局、日本経済新聞社、（一社）産業環境管理協会談）